

深浦発の事業で展望

大

「あおもり
海山」社長

堀内氏が講演

弘

弘前大学（佐藤敬学
長）は13日、あおもり
海山（深浦町）の堀内
精二社長を講師に招い
た講演会を開いた。堀
内社長は「深浦町発
信」産業創出による地
域経済活性化に向け
て」と題して、事業内
容や今後の展望につい
て説明した。

文部科学省の「地
（知）の拠点整備事業
（大学COC事業）」
に採択された弘大で
は、地域志向の事業展
開や経営ノウハウに関
する講義を通じて地域

あおもり海山の取り組みについて
紹介する堀内社長



の再生・活性化の拠点
となる大学づくりを目
的に講演会を開いてお
り、今年度は4回目の

開催。

マグロの大型定置網
漁業を行う「ホリエ
イ」（同町）も堀内社
長が運営。ホリエイで
漁業・仲買、あおもり
海山で加工・冷凍・販
売を手掛ける。

堀内社長は、青森の
地域資源の価値を高め
た流通には冷蔵・冷凍
施設や漁師の意識が必

要であると説明。「努
力すれば価値は上が
る。それが漁業者には
足りないこと」と話
し、船上でマグロの活
締め・神経抜きをして
鮮度を保つ処理を続け
た結果、築地市場から
の評価が良くなり、漁
師の誇りにもつながっ
たことを紹介した。

（成田真矢）